

5日 木曜

ヤコブ

3:1 私の兄弟たち、多くの人が教師になってはいけません。あなたがたが知っているように、私たち教師は、より厳しいさばきを受けます。

3:2 私たちはみな、多くの点で過ちを犯すからです。もし、ことばで過ちを犯さない人がいたら、その人はからだ全体も制御できる完全な人です。

3:3 馬を御するためには、その口にくつわをはめれば、馬のからだ全体を思いどおりに動かすことができます。

3:4 また船を見なさい。あのように大きくて、強風を受けていても、ごく小さい舵によって、舵を取る人の思いどおりのところへ導かれます。

3:5 同じように、舌も小さな器官ですが、大きなことを言って自慢します。見なさい。あのように小さな火が、あのように大きな森を燃やします。

3:6 舌は火です。不義の世界です。舌は私たちの諸器官の中であってからだ全体を汚し、人生の車輪を燃やして、ゲヘナの火によって焼かれます。

3:7 どのような種類の獣も鳥も、這うものも海の生き物も、人類によって制することができます。すでに制せられています。

3:8 しかし、舌を制することができる人は、だれもいません。舌は休むことのない悪であり、死の毒で満ちています。

3:9 私たちは、舌で、主であり父である方をほめたえ、同じ舌で、神の似姿に造られた人間を呪います。

3:10 同じ口から賛美と呪いが出て来るのです。



私の兄弟たち、そのようなことが、あってはなりません。

3:11 泉が、甘い水と苦い水を同じ穴から湧き出させるでしょうか。

3:12 私の兄弟たち。いちじくの木がオリーブの実をならせたり、ぶどうの木がいちじくの実をならせたりすることができるでしょうか。塩水も甘い水を出すことはできません。

3:13 あなたがたのうちで、知恵があり、分別のある人はだれでしょうか。その人はその知恵にふさわしい柔和な行いを、立派な生き方によって示さない。

3:14 しかし、もしあなたがたの心の中に、苦々しいねたみや利己的な思いがあるなら、自慢したり、真理に逆らって偽ったりするのはやめなさい。

3:15 そのような知恵は上から来たものではなく、地上のもの、肉的で悪魔的なものです。

3:16 ねたみや利己的な思いのあるところには、秩序の乱れや、あらゆる邪悪な行いがあるからです。

3:17 しかし、上からの知恵は、まず第一に清いものです。それから、平和で、優しく、協調性があり、あわれみと良い実につき、偏見がなく、偽善もありません。

3:18 義の実を結ばせる種は、平和をつくる人々によって平和のうちに蒔かれるのです。

誰かに神様について教える働きをする人は、その責任に応じて神様からの指導があります。大きな影響力を持った人には、「格別いきびしい」基準があるでしょうし、それに反するようであれば神様がしっかりと判定（さばき）をしてくださ

ます。そこで自分を守ろうと思うなら不安にもなりますが、主の栄光のためと思えば、そのさばきは安心でもあります。主によって正しいだけだからです。

特にここでは「ことばで失敗しない」ということがポイントとして語られています。以下にことばがいかに大きな問題になり得るかが、説得力を持って語られていますから、留意しなければなりません。

ただ気をつければ良いというのではなく、「塩水が甘い水を出すこともできない」とありますように、その人の質すなわち心が決定するのです。逆に言えば、私たちの心が愛に満ちた甘い思いであるなら、ことばは必ずから良いものになるということ。愛を持って、良いことばを語りましょう。

ねたみや敵対心は、自分が優位に立ちたいという「誇り」から生まれます。そして多くの場合、そのプライドによって自分が見えなくなってしまうから、その心の問題に気が付きません。

「地に属」するような価値観から自由になる必要があります。「上からの知恵」によって、私たちの価値観を形成させていただきましょう。「平和、寛容、温順であり、また、あわれみと良い実とに満ち、えこひいきがなく、見せかけのないもの」という思いが、自分自身の人格を造っているのでしょうか。主によって、具体的に吟味していただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？